

# 熊大通信

KUMADA TSUSHIN

Jan2003

Vol.7



特集

熊本大学のニューリーダー

崎元達郎  
新学長に聞く



**KU4U**

～あなたのための熊本大学～

熊本大学は、4つのことに全力を投入します！

Upgrade 未来を生き抜く人材の養成

Unique 新たな知的価値の創造

Union 地域連携と地域貢献

Universal 留学生教育と国際貢献

# CONTENTS

〈目次〉

知と社会

Vol.7

熊本大学ニューリーダー

# 崎元達郎

新学長に聞く



P.1

## 熊本大学に聞いてみたい!!

～法学部ってどんなトコ?～



P.6

P.6

## 熊大群像

「文学部の農学者、現代社会を斬る」  
熊本大学文学部教授 徳野貞雄



P.8

P.8

## OB・OG訪問

「一生つきあえる仕事を選ぼうと思った」  
熊本大学医学部附属病院・看護師長 後藤 麗子さん



P.10

P.10

## 国際交流事情

～国際総合大学としての熊本大学～  
～熊大で異文化コミュニケーションを体験～  
韓国釜山出身 成炯周(ソン・ヒュンジュ)さん



P.12

P.12

## 熊大INCEMATION

P.14

# 熊本大学ニューリーダー

# 崎元達郎

## 新学長に聞く

江口吾朗前学長の任期満了に伴い、平成14年11月20日をもって、崎元達郎前工学部長が熊本大学第11代学長として就任しました。教育、研究、産学連携、国際連携―。国立大学の独立行政法人化を目前に、大学をどうつくっていくか、大学の個性と潜在力をどうアピールしていくか、トップの見識と手腕が大きくものを言う時です。

内に向けては「誇りに思える」大学作りを、外へは「世界のより多くの人々に日本に熊本大学あり」と認めてもらえるように努力する。ニューリーダー、崎元達郎新学長がこれからの熊本大学を語ります。

(聞き手：広報委員会編集部長  
上野真也助教授)

# 崎元達郎



## 熊本大学の4つの目標

「熊本大学の学長に就任され、所信表明の中で4つの新たな目標を掲げておられますね。」

崎元 学長になって最初に「Kumamoto University for You ～KU4U～あなたのための熊本大学」という4つの目標を所信として表明し、大学のスタッフ一人ひとりが心を合わせて頑張っていきたいと思います。

- 1 「未来を生き抜く国際水準の人材を養成します」(Upgrade)
- 2 「先導的・基礎的研究を推進し、新たな知的価値を創造します」(Unique)
- 3 「地域と連携し、教育、文化、産業、医療に貢献します」(Union)
- 4 「学術交流と留学生教育により国際貢献します」(Universal)

このKU4Uの実現をめざし、みんなで努力していくことで、間近に迫った国立大学の独立行政法人化を乗り切り、さらに熊本大学の存在価値を高めていきたいと思っています。

「学長の目からご覧になって、現在の熊本大学の現状についてはどうお感じですか？」

崎元 第五高等学校以来、すばらしい歴史と伝統を持った大学だと思っています。熊本に来て30年

## あなたのための熊本大学

近く経ちますが、学生諸君がとも純朴で、素直です。それは都会の学生にはない良さ気質だと思います。今も変わらず受け継がれていますね。もちろん現代っ子ですから、時代と共に変わっていく部分もありますが、根本の部分は変わらないですね。それが伝統を持つ長所だと思います。—こんな風にな変わってほしいといった点はありませんか？

**崎元** 学生のみなさんについて言えば、もう少しやる気が欲しいなあと思います。動機づけというか、自分が本当にやりたいことが見えていないような気がします。そうしたモチベーションが欠落していると、学ぶ意欲もなかなか沸いてきません。大学に入ってからでも決して遅くはないと思いますので、熊本大学で学ぶ中で、自分の目標や将来の方向性を見つけてほしいですね。そのために大学は何ができるのか。それは我々にとつての大きなテーマです。

### 学生を育て、指導するトレーナーとしての役割

**崎元** 時代と共に大学の役割も変わっていきま

す。教育機関としての大学の役割として大事なことは、「基礎学力の確保と自ら学ぶ力の育成」、「人間のなたくましさ」と優しさの涵養」といったことでしょう。そのために、我々教える側は何をすべきなのか。常に教員の資質が問われています。私は教員というのはトレーナーのようなものだと



思っているのです。ボクシングのトレーナーというのは、自分自身がチャンピオンになれるわけではないけれど、優れた素質を見つけだし、鍛え上げ、磨き上げることはできます。チャンピオンを生み出すために、トレーナーの役割は大きいと思います。教員とは、そんな存在でしょう。学生た

ちはみな潜在的に能力を持っています。我々はそんな彼らと謙虚に向き合い、トレーナーとしての厳しさと優しさをもって彼らの成長に立ち会っていくべきだろうと思うのです。教員側から教えるだけでなく、いかにして学生たちが主体的に「学習する」状況を作っていくかが大事だと思います。学習環境を作り出すことが、これからの教員の大きな役割かもしれません。

—理系と文系では少し状況が違うかもしれませんが、実際に体験させることも重要でしょう。

**崎元** 小中学校では「総合的な学習」と言いますが大学教育においても、ひとつの現実のプロジェクトを想定して、それに対して複合的、総合的な解決方法を学んでいくPBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）なども有効で、それが学習意欲を高めることにもつながると思います。

### 個性ある研究分野の開拓

—研究に関しては、大学院の整備充実も含めて、「熊本大学として特徴的で卓越した研究分野の創成と推進」を掲げておられますね。

## PROFILE Tatsuro Sakimoto

昭和47年4月 大阪大学工学部助手  
48年4月 熊本大学工学部講師  
54年6月 熊本大学工学部助教授  
54年9月 アメリカ合衆国  
オハイオ州立大学客員助教授  
59年4月 熊本大学工学部教授  
平成9年8月 熊本大学評議員  
14年4月 熊本大学工学部長

### 主な学会活動

土木学会賞選考委員会委員  
九州橋梁・構造工学研究会会長  
国際橋梁構造工学会 (IABSE) フェロー

### 主な社会活動

くまもとアートポリスアドバイザー委員会委員  
くまもとテクノ産業財団教育システム検討委員会委員長

### 主な受賞等

土木学会賞 田中賞 (論文部門) 受賞



**崎元** 生命科学系、自然科学系、人文社会学系と

3つの大学院の整備充実と、さらにその中核に、大学院を相互に束ねながら引つ張っていくような研究科先導機構を設置したいと考えています。すでに、自然科学研究科の整備や社会文化科学研究科の新設、医学研究科と薬学研究科の統合などが進められてきました。平成16年度には法科大学院の設置を計画しています。特徴的で卓越した研究分野の創成という意味では、発生医学の分野で「発生医学研究センター」や「動物資源開発研究センター」、エイズ研究については「エイズ学研究センター」、理工系では、有明海の環境問題をテーマとした「沿岸域環境科学教育研究センター」、新材料の開発に取り組んでいる「衝撃・極限環境研究センター」などユニークな研究分野で成果を出しつつあります。

―熊本大学の研究テーマも、「21世紀COEプログラム」に選ばれました。

**崎元** 今年度は5分野で募集があり、熊本大学は生命科学分野で発生医学研究センターの田賀センター長を拠点リーダーとする「細胞系譜制御御研究教育ユニットの構築」が採択され、文部科学省の特別予算が付きました。来年度以降も募集がありますので、熊本大学から少なくともあと1つはプロジェクトが採用されることを目標にしています。また、人文系、社会科学系の分野での研究にも力を入れていかなくはと考えています。

## 産業界、行政、地域との連携が

## 大学の未来を拓く

―産学官連携、地域連携についてはどういう方向

性で進めていきたいとお考えですか？

**崎元** 全国の大学に先駆けて設置した地域共同研究センターを中心に、熊本県やくまもとテクノポリス財団、熊本TLOなどと連携をとりながら進めているところです。具体的には、起業家を育てるための拠点として、平成13年度にサテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーを設置しました。また、大学に眠るシーズを掘り起こしてビジネスチャンスにつなげるためのインキュベーション施設も今年度に立ち上げたところです。地域貢献についても、「生涯学習教育研究センター」を中心に積極的に展開しています。今年度の事業としては、地域貢献特別支援事業「21世紀型地域連携モデルの形成を目指す熊本大学LINK構想」があります。これは、熊本大学のネットワークと熊本県のネットワークをつないで、さまざまな分野の事業に役立てていこうというもので、その成果が期待されています。

―さらに目に見える連携の取り組みが、これからは必要かなという気がしますが。

**崎元** とかく社会貢献、地域貢献というと、すぐに役に立つ、即効性のある研究や開発にばかり目が向きがちです。人文系の研究分野など長期的、基礎的な分野でもさらに連携の輪を広げていくことが





必要だと思えます。「この研究は、百年後に役に立ちます！」というキャッチフレーズでもいいじゃないですか。

人文系の研究も、もっと前へ打ち出していきたい。それがさまざまな分野と結び付いて、大きく花開く可能性を持つていますから。

—これからの時代、大学の教員の役割は教育、研究、社会貢献と多岐に渡ります。教員の在り方についてはどうお考えですか？

崎元 私やはり大学の教員というのは、自らの研究を磨き、深めていくことが基本だと考えています。

何年も同じノートでの講義はありえない。そうした専門分野の研究が大学での教育の基礎になっているわけですから。学生たちを指導し、教育するためには、研究者として常に最先端を走っているという気概がなくてはダメなんじゃないでしょうか。少なくとも、私はそう信じています。研究と教育とのバランスは微妙ですね。でも大学では研究しているからこそ自信をもって教えることができるし、学生には面白みが伝わると思います。—情報通信技術ITを生かしながら、大学の研究などを外へ向けて発信していくことも学長は提唱されていますね。

崎元 大学の知的資産を社会に還元していく上で

も必要なことだと考えています。学内では、無線LANの整備を進めて、いつでもどこでもだれでも自学自習できるeラーニングの充実を推進し、生涯学習やリカレント教育、さらに情報の中身が充実してくれば遠隔地教育で、離れていても学位が出せるようなシステム、バーチャル・ユニバーシティまで構築していければと思っています。採算性なども含めて課題は多いと思いますが、大学の将来構想としても欠かせない分野だと思っています。

### 独立行政法人化という転換期を迎え、 大学人の意識改革が求められる

—目の前に迫った独立行政法人化で、大学も経営を求められる時代になりました。

崎元 現在、熊本大学の予算である460億円から施設整備費を除いた350億円に対する比率で言うと、5割強が人件費です。収入で見れば、授業

料が2割弱、病院収入が4割弱、国からの運営費交付金が4割といったところです。これが法人化になれば、国からの予算が大学の運営内容などによって大きく左右されることになるでしょう。計画と結果に応じて予算が付くわけですから、お尻をたたかれてくるような状況で、まさに頑張らざるをえない。大学も熾烈な競争社会に突入していくわけです。予算を得るだけでなく、大学が自ら努力して外部から資金を稼いでくることも必要になるでしょう。いずれにしても、お金の問題はかなりシビアです。そうした状況を大学の内部の人たち一人ひとりがしっかりと自覚し、責任を果たしていくことが求められています。まさに意識改革が必要です。

私の好きな言葉は「持続する志」です。熊本大学らしさを大切にしながら、みなさんと一緒に頑張っていこうと思っています。ご支援ご協力をよろしく願います。

## 鹿児島生まれの関西育ち、 趣味は水彩画



生まれは鶴の飛来地として有名な鹿児島県出水で、幼い頃に神戸へ移り住み、そこで育ちました。父親が船乗りでしたので、港町とは縁が深いですね。大阪大学を出てから、熊本大学に参りまして、その後はずっと熊本です。

中学・高校時代は機械体操をやっていたのですが、大学に入ってから美術に方向転換しました。大学で美術部に入り、それ以来ずっと描き続けています。油絵は匂いがかちょっとキツイので、最近はもっぱら水彩画です。

熊本大学の教官展は長い歴史があり、私も15年程前から参加させていただいています。

橋の構造が専門です。熊本県のアートポリス作品である「鮎の瀬大橋」は設計解析の仕事で参加させていただきました。絵を描いていますので、デザインにも興味があります。デザイナーや建築家と一緒に取り組む仕事は、とてもおもしろいです。

# 熊本大学に

# 聞いてみたい!!

法学部って  
どんなトコ??

法学部に進学したら、将来は検察官や弁護士、裁判官など法曹界で活躍する法律の専門家に…、とイメージする人も多いのでは?でも法学部では、法律だけを学んでいるわけではありません。政治学や経済学を含む公共政策問題など幅広い学問を学び、社会に貢献する様々な仕事に携わる人材を育てるのが法学部なのです。「聞いてみたいシリーズ」、今回は高校生3人が法学部を訪ねました。

**Q**

小笠原 法学部ではどんな勉強をするのですか?また、どんな学生を求めているのですか?

**A**

北村 法学部とは、法律学を中心に社会で起こる様々な出来事に問題意識を持って取り組み、学習する学部です。けっして六法全書を読みながら、法律をおぼえるだけの学部ではないんですよ(笑)。現代社会の基盤であり、我々の生活と密接な結

**Q**

谷津 弁護士や検察官など、法曹界の現状はどうなっていますか?

**A**

北村 裁判官、検察官、弁護士を合わせて

法曹三者と呼びます。いずれも難関である司法試験を突破しなければなりません。現在、その合格率は4万人の受験者に対しわずか千人という割合。そのため、他の先進国と比較するとこれらの資格を

びつきのある法律を通して、幅広い分野に向けて学習する姿勢が要求されます。法学部を志望する学生には、普段から新聞やテレビなどを見て、日常的に身の周りに起る社会問題の背景や解決方法を自分で考える能力を身につけてほしいですね。

法学部

(左) 北村 泰三 教授

(右) 小名木 明宏 助教授

もつ人の数はかなり少ないというのが現状です。そこで、この状況を改善するために考えられたのが、現在話題になっている法科大学院(ロースクール)の設置です。この制度により毎年約3千人の有資格者が生まれることになると考えられています。法科大学院は平成16年度より設置される予定で、熊本大学でもその準備を進めています。



検察官を目指していますが、法曹界の現状はどうなっていますか?

法学部って幅広く学んでいるんですね!

法学部のイメージがわいてきました



# 今回の体験者



熊本県立第一高等学校3年生  
おがさわら ひなな  
小笠原 瞳さん

「パンフレットやホームページで法学部に対するイメージをふくらませていたけど、今回、直接先生方といういろいろなお話が出来て、具体的な法学部のイメージがわいてきました」



熊本県立第一高等学校3年生  
やぶた たかよし  
谷津 鷹良さん

「検察官にあこがれて法学部を目指しているのですが、お話を聞いて法曹三者になるのは相当厳しいものと再認識しました。とにかく今は目前に控えた大学受験を頑張りたいと思います」



熊本県立第一高等学校3年生  
ながた ゆうこ  
永田 祐子さん

「法律だけを勉強しているのかと思っていたのですが、法学部は幅広い教養も身につける学部だということを知りました。今回のお話を聞いて法学部のイメージがガラリと変わりました」

**Q** 小笠原 授業内容は高校とどんな違いがあるのですか？

**A** 小名木 大学の授業では高校までに学習したことを基に、専門的で多岐にわたる学問をより深く追究していきます。基本的にカリキュラムは法律学、経済学など幅広い分野から自分の興味のあることを自由に選ぶことができます。授業内容で高校と最も大きく異なるのは、自主性を持った学習態度です。全員でディスカッションするような授業などで、社会に出てから要求される、自分で考えて行動する姿勢を養います。また、熊大法学部には県下の官公庁や法律事務所などのインターンシップで職業観を育成する体

**Q** 小笠原 熊大法学部には単位互換制度があると聞きましたが、どういう制度なのでしょう？

**A** 小名木 単位互換制度とは他の大で受けた授業がそのまま卒業するための単位として認められる制度で、熊大法学部、熊本県立大学総合管理学部、熊

民間の企業と公務員の2つのグループに就職します。特に熊大では公務員採用試験に力を注ぎ、公務員入門講座や直前講座などいろいろな課外講座を行っています。その他では、大学院に進む人や法曹三者になるために受験のための勉強を続ける人達もいます。



幅広い分野に目を向けて、どんどん興味をもって欲しいですね！

法学部のホームページのぞいてくださいね！

**Q** 永田 卒業後の進路を教えてください。

**A** 北村 社会に不可欠の法学を学び、幅広い教養を身につけた法学部の学生は、あらゆる分野でのニーズが高く、大きく分けて



本学園大学商学部・経済学部の3大学4学部で実施しています。いろいろな分野への学習意欲がある人には、便利な制度だと言えます。

熊  
大  
群  
像

熊本大学文学部教授

徳野 貞雄

# 文学部の農学者、

## 現代社会を斬る

は、多くの人を引き付けます。全国の農村を走り回るフィールド派に、現代社会の中でのご自身の関心の在り方や問題点をうかがいました。

抽象論を越えて、現場へ

「ふだんは、なかなか研究室におらんからねえ」と開口一番。昨日は阿蘇、明日は四国…と、全国の農山村を走り回る現場重視の研究者です。「フィールド派とか言うけど、あたりまえやろ、そんなこと！現実とは日々変化しとるんよ。それを文献やら資料やらでわかるか？まずは現場に行つて、その土地のおっちゃん、おばちゃんたちと話さな、ナンもわからんでえ」。地域活性化をどうするかという抽象論より、具体的なムラや家族の問題にどんどん入り込んでいくのが徳野流で





## PROFILE

徳野 貞雄教授

九州大学大学院文学研究科博士課程修了後、福岡県農協中央会嘱託職員、山口大学人文学部助手、広島県立大学経営学部助教授などを経て、平成9年に熊本大学へ。その間、イギリス・シェフィールド大学客員研究員。趣味は食べること。



合鴨農法の理論的指導者でもある徳野教授は、現地の人たちとの共同活動も多いです。

す。「おばちゃん、あんた娘をどこに嫁にやるん？近くがエエーで！」そんな会話がぼんぼん飛び交います。農村の疲弊、過疎化の弊害、人口減少の問題といった通り一遍の建前論を、データに基づいて笑い飛ばし、「人生80年の時代、都市人より田舎の方がエエ顔して暮らしているで！」。

何よりも現場での実感を大切にしろと言う徳野教授。フィールドワークの積み重ねと研究データの蓄積から発せられる持論には迫力と説得力があります。

### 「農村社会学」って文学部？

農村社会学・農業社会学といって、一般にはなじみが薄い名称です。「文学部？先生は農学部じゃないんですか？」よく言われるよ。文学部の中の社会学という学問は、今生きている人間がテーマ。ヒトのやることすべてが社会学のフィールドと言ってもいいかもしれんね。

かつて日本人のほとんどが農村に住み、農業と何らかの関わりを持って暮らしていました。ですから、社会学者は農村を通して日本の社会を研究していたのです。

「それが時代と共に、社会学者が、もはや農村だけを見ていてもアカン、都市の生活者を研究対象にするようにせなアカン」と言い出して、社会学イコール近代化研究みたいになっていったんやな。でも、農と無関係な社会なんかあり得ない。

かたや農学部は、いかに食糧の生産量を増やすかに汲々としてきました。「農学部」とは、本質的に明治時代

## 農村というフィールドに切り込む



九州で農村社会学を学ぶなら熊本大学文学部！

からモノとカネの世界を対象にしていたんよ。いかにして生産性を上げるか、これしかない。農村の過疎化だとか消費者との関係なんていうのは「専門外」。担い手である農民の暮らしかや都会の消費者の飽食問題などの現代のヒトの行動こそ、重点的に研究しなければならぬ領域だと徳野教授は考えています。

農村社会が長い年月をかけて育んできたものは、日本人の行動様式のすべてに関わってきました。日本人のキャラクター、美意識、風習、慣例、マナー、民俗……。そういう意味でも、農業の問題は単なる経済効率だけではかれない。農業が生み出すものは、米や麦といった「モノ」だけではなくて「社会

や文化」そのものなんよ。

### 人口減少を前提とした

#### 地域社会作り

「地方に行くこと決まってる、この村は過疎で悩んでますとか、高齢化が進んでもうダメです」と言う。ぼくは人口増加⇨地域発展、人口減少⇨地域衰退といった固定観念の見直しが必要や言うてるんや。これからの社会は、都市も農村も、人口減少を前提として考え直していく必要があるのではないかと徳野教授は指摘します。

1960年に合計特殊出生率が2.0になって以来、出生率はじわじわと下がり続け、今や1.3。世帯数の極小化も進んでいます。それも、高齢者の単身や夫婦だけという世帯が増加しているのが特徴です。これは農村部だけではなく、都市部でも同様です。「農山村では地域社会自体が小さくて、お互いに直接支え合うシステムができて上がっているから、高齢者もそれなりの役割や居場所がある。問題は、都市に暮らす高齢者世帯をどうするか。彼らを支える新しいシステムを構築できるかどうか、これからの社会の大きな課題やなあ」。徳野教授の研究は現代社会の再構築に向けてまだまだ続きそうです。

# 一生つきあえる仕事を

熊本大学医学部附属病院の集中治療室で働く看護師長、後藤麗子さんは1980年卒業の医療技術短期大学部第一期生です。多忙ながらも、看護の仕事に生きがいを感じるという後藤さんにお話しをうかがいました。

## 医療技術短期大学部の一期生として

「看護の仕事につくきっかけは何だったのですか？」

後藤 一生続けられる仕事につきた

うになってからです。

「医技短の一期生だそうですね。」

後藤 先生方や事務の方たちと皆仲良

しで、わきあいあいと楽しかったです。看

護学科は80人で、今思うとまるで高校

で現場に出て患者さんたちと接するよ

うになってからです。

「医技短の一期生だそうですね。」

後藤 先生方や事務の方たちと皆仲良

しで、わきあいあいと楽しかったです。看

護学科は80人で、今思うとまるで高校

の延長のような雰囲気でした。当時

は看護学科と衛生技術学科だけで

したから、学生も少なく静かな感

じでした。

「医技短での3年間はどんな学生

生活でしたか？」

後藤 まじめでしたよ。みんなよ

く勉強しました。遊んだり、サボっ

たりすることもあまりなかったです

ね。教養、専門、そして実習と中

身の濃い、充実した3年間でした。

「特に印象に残っている講義や先

生はいますか？」

後藤 当時、看護学科の教授だっ

た野崎先生にはいろんなことを教

## PROFILE

後藤 麗子 (ごとう・れいこ)  
熊本大学医療技術短期大学部卒業後、昭和55年熊本大学医学部附属病院勤務。昭和63年から2年間筑波大学病院勤務。現在、熊本大学医学部附属病院集中治療室看護師長。

えて頂きました。大好きな先生でした。男性っぽく凛とした姿が印象的でした。お酒が好きでとっても強かったです。学生時代はもちろんのこと、卒業後も看護とは何か、看護に求められているものは何かということ、自分の体験をもとによく話してくださいました。しかし、昨年9月、長い間の闘病の甲斐なく亡くなりました。心からご冥福をお祈りしたいと思います。

## 実習で、医療現場の

### 厳しさを知る

後藤 最初に実習に出たのが2年生の後期でした。最初は患者さんにどう話しかけていいのかからなくて…。先輩たちの自然な態度を見て、すごいなあと思っていました。患者さんの





気持ちになって接することが大事だと学びました。

―熊大病院ですつと仕事をされたのですね。

**後藤** 卒業後すぐ第二外科へはいり、3年半後の最初のローテーションで循環器内科・胸部外科へ移り、その後、筑波大学へ行きました。2年後熊大へもどり、第一外科を経て現在に至っています。

## 筑波大学、 アメリカ・ミネソタ州へ研修

―筑波大学附属病院へ行かれたのは希望を出されてのことですか？

**後藤** そうです。29歳の時でした。前任の看護部長のすすめもあり、このあたりで一度、外の世界を経験しておきたいなあと思って。

当時、熊大では国内留学制度があって、筑波大学へは2年ごとに、看護師が派遣

されています。ちょうど先輩が任期を終える時期だったので、「行かせてほしい」と希望しました。

―実際に筑波大学で仕事をされて、いかがでしたか？

**後藤** よそを知ること、熊大病院のよさが見えてきました。熊大の看護師はよく頑張っているんだなあと再認識できました。30歳を目前にこれからどうしようかと考えていた時期でもあって、私にとってはとても貴重な2年間でした。

―熊大とは随分違いがありましたか？

**後藤** 筑波大学は、患者さんを重症度によって分けるというPPC方式を採用していました。これは筑波大学独特のやり方です。重症・中症・軽症と分けられているため病棟により看護師の数も違います。これはとても効率的でした。また、伝票や看護用具・薬品など、日常的に使うものはすべて置く場所が統一されていました。管理面、システム面で、筑波大学はとても参考になりました。―アメリカへも研修に行かれたとうかがっていますか。

**後藤** 平成6年に1カ月間、ミネソタ州のメイヨー・クリニクという病院へ研修に行きました。ここではスタッフの多さにびっくりしました。いろんな職種があり、仕事の役割分担がきちんとしていました。看護師は患者さんの直接ケアや退院時指導が中心で、患者さんを搬送したり、食事を配ったり点滴をしたりというのはそれぞれの専任の方がやっています。各国から研修にきていて、病院側の受け入れ態勢も整っていました。

## これから医療現場をめざす 先輩たちへ

―現在はICUで看護師長のお仕事をされているのですね。

**後藤** 平成5年にここへ来て、昨年4月に看護師長となりました。師長としてはまだ新米です。毎日先生方やスタッフに助けられながら仕事をしています。毎日が新しいことの連続で大変ではありますが、楽しく仕事が

できています。チームワークはよくとれていると思います。ICUでは患者さんと直接お話しする機会が少ないのでちょっと寂しいですね。回復されて、一般病棟へ帰っていかれる時はどうもうれいす。でも、ICUは緊急入院が多く、また急性で重篤な患者さんが多いので、少しのミスも許されません。そのため私たちはいつも緊張状態にあり、ストレスがたまります。そんな大変で忙しい職場ではありますが、その反面やりがいもあります。

―これから看護の仕事をめざす人々へのアドバイスはありますか？

**後藤** 看護の仕事は人と接することが基本です。相手を思いやる気持ちと優しさがあって、この仕事をやりたいという熱意があれば大丈夫です。技術的なことは現場で学ぶことができますが、最低限のマナーや常識はきちんと身につけておいてほしいですね。特にあいさつがきちんとできる人であってほしいです。あとは、体力(笑)。元気に明るくポジティブ思考で頑張れる人に、ぜひ看護師をめざしてもらいたいと思います。

# 選ぼうと思った



韓国釜山出身  
成炯周（ソン・ヒュンジュ）さん

韓国からの留学生、成炯周さんは熊本大学工学部環境システム工学科で土木環境工学を学ぶ4年生です。「10代の頃は、日本への留学、しかも熊大に入学するなんて、全く考えていませんでした」。今ではすっかり熊本に馴染んで、学生生活をエンジョイしています。

成炯周さんが育ったのは、韓国第二の都市、人口400万人の商業と水産業が盛んな釜山、釜山。地元の高校を卒業後、ウルサン広域市にあるウルサン大学に進学し、電気工学を学びました。そして在学中、徴兵義務のため軍隊へ。97年7月に兵役が終わり、大学の始まる4月まで何かをしなければと考えていました。

福岡に親戚が住んでいる事もあり、日本を身近に感じていたそうです。「時々韓国に遊びに来る親戚たちの話す日本語に興味がありました。隣の国がどんな国かも覗いてみたいと思っていました。

## 海を挟んですぐ隣、 どんな国だろうと 想像していました

た。そこで、この機会に福岡の日本語学校へ留学することを決意しました。その頃出会った日本人に対する印象は、想像していたよりも親切でよく働くといった感じでした。生活習慣の違いによるハブニングもたくさん体験したといいます。「ある人の送別会パーティーに呼ばれた時、参加費を払うように言われてビックリ。韓国では主催者が費用を負担するのが当たり前。その時はお金も持っていかなかったから、とても困りましたね」と苦笑い。

福岡で約2年間過ごした後、そのまま日本の大学へ進学したいと思った成炯周さん。九州内の各大学を徹底的にリサーチして、熊本大学に入学しました。成炯周さんの選んだ工学部環境システム工学科は、道路やライフラインなどの社会基盤構造物の計画や設計、施工を通して、地球規模の環境問題を研究する学科です。「ウルサン大学で専攻していた電気工学より、土木のようなものづくり」をしたい

# 熊大で異文化 コミュニケーションを体験

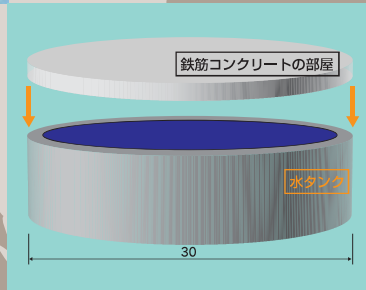
2002年に、日韓共催のサッカーワールドカップが開催されています。交流が盛んになった日本と韓国。熊本大学工学部4年生の韓国・釜山出身、成炯周さんもそんな日韓交流を担う一人です。熊本大学でいろいろな人達と出会い、多くのことを学んだと話す成炯周さん。4年間の学生生活で体験したことや思い出について話を聞きました。





## PROFILE

成畑周さん (ソン・ヒュンジュ)  
1976年生まれ。韓国釜山出身。ウルサン大学在学中、徴兵のため軍隊に1年半所属。1997年に語学留学で来日。1999年熊本大学工学部へ入学。



と思いました。卒業研究として「プレストレストワイヤールーフ」をテーマに選び、PCタンクの屋根の構造とその適正な幾何形状についての研究で忙しい毎日を過ごしています。

## 出会いを通して 学んだことが 一番の財産

熊本に来てからの4年間、様々な体験を通して人生観が大きく変化したと言います。

その中で最も影響を受けたのが、先輩の韓国人留学生に連れていってもらったあるプロテスト系教会。「教会に通うようになって、おだやかな気持ちで過ごせるようになり、思いやりの心を持って他人と接することの大切さを知りました」。

熊大に在籍するいろいろな国からの留学生たちとの出会いもそのひとつ。「欧米、アジアなど出身が違っても、人間はみんな同じなんだと感じました。国籍や人種なんて関係ない。誰でも自分が相手に好意をもって接すれば、必ずそれに応えてくれました」。日本人の学生との交流でも同じ事を感じたといいます。「韓国にいる時に学んだ日本のイメージと実際のイメージはとても違いました。それに韓国との複雑な歴史の問題に対しても、日本人の学生が真面目に考え、自分の意見をもっていることに驚きました」。そんな成畑周さんと同じ研究室で学ぶ友人たちは、「成さんと話していると、とても心がおだやかになるんですよ。それにビックリするほど熊本弁が上手だし(笑)」と、人柄の良さでまわりの学生たちにも人気があ

ります。

6年間の日本での生活はまるで不自由を感じないといえます。特に食べものに関しては、「私は韓国人だけど、辛いものがすごく苦手。だから、ご飯や味噌汁などの日本食ばかり食べています」。また、成畑周さんが熱心に取り組んでいるのがテコンドー。「パワフルでリズミカルなスポーツ。子どもの時から大好きでした。でも、韓国にいた頃より熊本に来てからの方がより熱心に行っているかもしれないですね」。今年の6月に行われた第11回福岡県テコンドー選手権大会のバンタム級で優勝するほどの腕前です。

## 今はまだ、 自分の将来を 模索中です

「熊本大学卒業後はアメリカに語学留学する予定です。今はまだ、どの職業に就くかは決めていません。韓国、日本にとどまらず、もっと世界に目を向けていたいと考えています」。将来はニュージーランドでのんびり羊の放牧をしたいという夢をもつ成畑周さん。熊本大学で様々な国の人たちと交流して学んだことを生かし、いろいろな事にチャレンジしていきたいと抱負を語ってくれました。



1/24  
金

## 第30回遺伝子技術講習会

「Wonder World of ES cells」

丹羽 仁史

(理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター  
多能性幹細胞研究チーム チームリーダー)

16:00~17:30

●会場/熊本大学遺伝子実験施設 6階602講義室

お問い合わせ

熊本大学遺伝子実験施設  
TEL 096-373-6501  
FAX 096-373-6502

E-mail:www@gtc.gtca.kumamoto-u.ac.jp  
http://gtc.gtca.kumamoto-u.ac.jp

2/11  
火

シンポジウム

## 「看護における ユニフィケーション」

—臨床にいきる教育、研究—

12:00~16:30

2 講演 1

看護におけるユニフィケーションの  
実態と課題

—臨床、教育、研究を通して—

2 講演 2

看護教育の現状と課題

—看護実践能力の視点から—

2 パネルディスカッション

ケアの質をより高めるための  
ユニフィケーション

- 会場/熊本県立劇場 演劇ホール
- 参加者/500名
- 主催/熊本大学医療技術短期大学部

お問い合わせ・申込先

宇佐美研究室  
TEL・FAX 096-373-5470  
E-mail:susami@cms.kumamoto-u.ac.jp

2/6  
木

熊本大学地域貢献事業

## 「熊本大学研究シーズ 公開シンポジウム」

10:00~16:00

●会場/グランメッセ熊本

お問い合わせ・申込先

TEL 096-342-3841 FAX 096-342-3631 (村山)  
E-mail:murayama@eecs.kumamoto-u.ac.jp  
TEL 096-342-3639 FAX 096-342-3599 (松永)  
E-mail:matunaga@sc.kumamoto-u.ac.jp

## 「地方公務員政策法務 キャリアアップ講座」

無料

- 募集人員/市町村職員を対象とし、各会場50名
- 時間/9:00~16:10
- 講師/熊本大学法学部各教官

2/1 本渡市保健センター 2階会議室

2/15 熊本県町村自治会館 2階講堂

3/1 人吉カルチャーパレス 第2会議室

お問い合わせ・申込先

熊本県町村会  
TEL 096-368-0011

1/31  
金

## 第1回熊本大学沿岸域環境科学教育 研究センター講演会

13:00~16:00

### 「有明海・八代海の環境研究」

今回、3名の研究者をお招きして、最近の有明海・八代海の  
環境変化について、ご講演いただきます。  
多数の皆様の御参加をお待ちしております。

- 会場/熊本大学くすのき会館ホール
- 参加料/無料
- 申し込み/定員80名です。当日、先着順で受け付けます。

お問い合わせ・申込先

〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1 熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター  
熊本大学総務部研究協力課 秋元和實 TEL 096-342-3426 (直通)  
森 良徳 TEL 096-342-3143 (直通) Email:akimoto@sci.kumamoto-u.ac.jp  
Email:y-mori@jimu.kumamoto-u.ac.jp



2/15  
土  
16  
日

## 医療における患者の自己決定権と インフォームド・コンセントのあり方

PATIENTS RIGHT TO SELF-DETERMINATION  
AND INFORMED CONSENT

(海外講師の発表には同時通訳がつかます)

- 会場/ニュースカイホテル
- 主催/熊本大学医学部・神経精神医学講座  
教授 北村俊則
- 参加料/15,000円 (平成15年1月31日までの申し込み)  
20,000円 (当日参加)

○Plenary Session

○日本でなぜインフォームド・コンセント  
が定着しがたいのか?

○医療におけるインフォームド・コンセ  
ントの実態と課題

○先端医療技術と研究倫理

○Thomas GrissoによるMacCAT-T  
の講習

○General Discussion

- 事前参加登録および宿泊案内ページ  
<https://ec.kjs.co.jp/kumamoto/>

お問い合わせ先

宇佐美研究室  
TEL・FAX 096-373-5470  
E-mail:susami@cms.kumamoto-u.ac.jp  
<http://www.medic.kumamoto-u.ac.jp/dept/psychia/documents/200302sympo/>

3/9  
土  
29  
土  
30  
日

## For You 市

新入生必見!

不用品の  
委託・寄附  
受付中

卒業生が不用になった家具・家電製品を収集し、  
安く提供します。一般の方も参加できます。

●会場/熊本大学学生会館ロビー

お問い合わせ先

熊本大学環境サークル リクラブ  
TEL 090-6402-2965 (代表/村田) TEL 090-7539-3102 (総括/村上)  
E-mail:for-you1@fm.cool.ne.jp <http://kumamoto.cool.ne.jp/for-you1/>



## 入 試 情 報

### ■大学院入試日程■

選 抜 区 分	願書受付期間	試 験 日
文学研究科(修士/社会人含む)第2期・春季日程	15/1/20(月)~1/24(金)	2/17(月)・18(火)
教育学研究科(修士)第2次	15/1/8(水)~1/14(火)	1/31(金)
法学研究科(修士/社会人・外国人含む)第2期	15/1/20(月)~1/24(金)	2/14(金)・15(土)
医学研究科(修士)春季日程	15/1/7(火)~1/14(火)	1/27(月)・28(火)
医学研究科(博士/社会人・進学者選考含む)春季日程	15/1/7(火)~1/24(金)	2/12(水)・13(木)
薬学研究科(博士後期/社会人含む)	15/1/20(月)~1/24(金)	2/28(金)
社会文化科学研究科(博士/社会人・外国人を含む)春季日程	15/1/20(月)~1/24(金)	3/3(月)
自然科学研究科(博士前期/社会人含む)第2次	15/1/8(水)~1/14(火)	1/30(木)・31(金)
自然科学研究科(博士前期/外国人含む)	15/2/12(水)~2/14(金)	2/27(木)・28(金)
自然科学研究科(博士前期/学部3年次対象)	15/2/24(月)・25(火)	3/3(月)・4(火)
自然科学研究科(博士後期/社会人含む)第2次	15/1/20(月)~1/24(金)	2/13(木)・14(金)

### ■専攻科入学試験日程■

選 抜 区 分	願書受付期間	試 験 日
特殊教育特別専攻科	15/2/12(水)~2/14(金)	3/3(月)

**がんばれ受験生!**

個別学力検査(前期・後期)の願書受付期間は

1/27(月) ~ 2/5(水)

前期試験日 ▶

2/25(火) 2/26(水)

※2月26日(水)は、教育学部中学校教員養成課程音楽、美術及び保健体育志望者の実技検査のみ実施します。

後期試験日 ▶

3/12(水)



お問い合わせ

熊本大学 学生部 入試課 〒860-8555 熊本市黒髪2丁目40番1号  
TEL 096-342-2146 FAX 096-345-1954 E-mail nyushi@jimu.kumamoto-u.ac.jp

## 生涯学習教育研究センターより

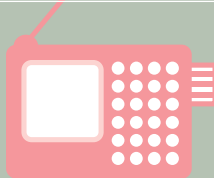
お問い合わせ先

熊本大学総務部総務課生涯学習係  
TEL 096-342-3121 FAX 096-342-3110  
E-mail: sos-syogai@jimu.kumamoto-u.ac.jp

## 熊本大学オン・エアー ラジオ講座実施中!

## 知のフロンティア講座

(時間 毎回14:00~15:30)



H15年3月まで  
FM中九州  
毎週日曜日  
13:55~14:00

「熊本大学は今」

大学の最新の研究、時事問題に対する解説、知的好奇心をかき立てる話題等いろいろな熊本大学の今をお届けします。

1/25(土)

第17回

「『橋の世界への誘い』-力と形-」

崎元 達郎 (学長)

2/8(土)

第18回

「人の安全と国の安全」

北村 泰三 (法学部教授)

3/15(土)

第19回

「音楽療法」

木村 博子 (文学部助教授)

放送日	タイトル	所属	官 職	担当教官
1月 5日(日)	工学部紹介	工学部	教 授	大野 恭秀
1月12日(日)	橋の世界への誘い		学 長	崎元 達郎
1月13日(月)	学長、熊大を語る		学 長	崎元 達郎
1月19日(日)	医療技術短期大学部紹介	医療技術短期大学部	学 部 長	平山紀美子
1月26日(日)	人の安全、国の安全	法学部	教 授	北村 泰三
2月 2日(日)	ロボットの今と未来	工学部	教 授	原田博之助
2月 9日(日)	法科大学院って何?	法学部	教 授	山中 至
2月16日(日)	キャリアアップの勧め	生涯学習教育研究センター	助 教 授	上野 真也
2月23日(日)	社会人の大学活用法	生涯学習教育研究センター	センター長	岩岡 中正
3月 2日(日)	音楽による癒し	文学部	助 教 授	木村 博子
3月 9日(日)	エコフレンド活動紹介	リクラブ学生		
3月16日(日)	地域に入って学ぶ	法学部	教 授	山中 進
3月23日(日)	失敗の勧め	教育学部	教 授	柴山 謙二
3月30日(日)	有明・八代海域の環境異変	沿岸域環境科学教育研究センター	教 授	滝川 清

※1/13(月)は15:45~15:55です。

## 公開講座

医療技術者のための情報処理  
—プレゼンテーション技法—

■開講日時: 2/15(土)

10:00~16:00

■受付期間: 1/14(火)~1/28(火)

算数・数学教育サロン

■開講日時: 3/8(土)

13:00~16:00

■受付期間: 随時

■お問い合わせ: 教育学部 山本研究室

TEL 096-342-2598

E-mail: shinya@gpo.kumamoto-u.ac.jp

## 熊本大学就職支援事情～就職支援体制に実績～

「熊大生の就職先は？就職支援体制は？」在生をはじめ兄弟の皆様にも関心が高いのが「就職」です。学生部就職指導室を中心とした熊本大学の就職支援状況をご紹介します。

熊本大学は、生協と共催で「公務員試験対策講座」「教員採用試験対策講座」「マスコミ就職対策講座」を開催しています。講座を希望する学生は、放課後や土曜日、大学休暇中を活用して大学内で受講しています。正規カリキュラム以外でこうした有料講座を設置している国立大学はまだ多くありません。また受講料も市価に比べておよそ半額と費用面でのメリットも大です。公務員試験の合格はこれまでの2倍以上、教員試験でも受験者の半数以上が1次試験合格と上々の成果をあげています。

基礎知識を養うために、専門の講師を招いて講義、実習などのガイダンス、企業研究やマナー講習、模擬面接など基礎知識を身につける支援はもとより、様々な職種の第一線で活躍している卒業生によるセミナーも学生には大いに参考になっているようです。約50社の企業説明会や国家公務員および地方公務員の説明会も学内で実施しています。

就職支援サークル“ベアーズクラブ”によるメーリングリストでの情報提供、勉強会、集団面接、集団討論対策などを利用することもできます。

企業や自治体でのインターンシップ（職業体験実習）も3年次の夏休み中に実施されており、300人以上の学生が参加しています。

毎年2,000人を社会に送り出している熊本大学、1人でも多くの学生の夢を叶えられるように、学生とともに就職指導室スタッフは奮闘中です。



就職ガイダンス風景



就職指導室のスタッフ

### 「熊大通信」が熊日賞を受賞



熊本大学が発行している広報誌「熊大通信」が、熊本日日新聞社が行った第17回熊日広報・社内報コンクールにおいて、最高の熊日賞を受賞しました。

熊本県内の事業所や団体から応募のあった36点のなかで、紙面の役割、内容、レイアウト等の審査の結果、「組織全体の活動内容がバランスよく取り入れられ、コピー表現やレイアウトなどきめ細かく配慮されている」等と高い評価を受けました。

「熊大通信」は、年に4回、県内外の高等学校のほか、県内の主要図書館、市町村、その他公共施設等に配布されています。



### 熊本大学発ベンチャーが3社目 大学院自然科学研究科・村山伸樹教授

平成14年11月12日付で、大学院自然科学研究科の村山伸樹教授が県内の病院と連携して運動機能を数値化するシステムを開発し、販売する新会社「ヒューマンテクノロジー研究所」を設立しました。



上肢運動機能評価システム

熊本大学の教官によるベンチャー設立は、トランスジェニック、ユージーンに続いて今回で3社目。

パーキンソン病や小脳変性症などによる患者の“ふるえ”などの運動失調を客観的に評価しようと、村山教授と熊本機能病院の中西亮二副院長が14年前から開発に当たってきた成果で、システムは熊本TLOを通じて特許申請中。全国15の医療機関に試験的に導入しており、今後年間売上高約1億2千万円をめざします。

## 編 集 後 記

■新たな年が始まりました。熊本大学では昨年11月より新学長に崎元達郎が就任しました。今回は新学長からみなさまへのメッセージを掲載いたしました。

2001年5月の創刊以来、7回目の発行となりました。これまでの熊大通信に対して、ご批判やお叱りばかりを受けるかと思っておりましたが、お褒めの言葉を多く頂戴し、昨年には「熊日広報・社内報コンクール」の「熊日賞」を頂きました。これまで国立大学の広報誌は「かたい、読みにくい」などのご意見が多かったのも事実でしたが、このように学外から高い評価を頂き、私たちも喜んでおります。また、学内の人達の力も大きなものでした。

特に原稿や画像等の執筆ならびに取材でご協力いただいた学外の方々にはご高配を賜りました。ここに感謝いたします。

今年も受賞に甘えずに、みなさまによることで、楽しんでいただき、ためになる紙面づくりをしたいと思っております。2003年もよろしくお願い申し上げます。

(編集委員：塚本光夫)

### 編集委員

教育学部 助教授・塚本光夫

医学部 教授・西 勝英

工学部 教授・大野恭秀

生涯学習教育 助教授・上野真也  
研究センター (部会長)

事務局/企画広報室  
文 責/編集部会



Illustration/ mari KAWATA

熊大通信では、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

● 宛先 ●

熊本大学総務部企画広報室  
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39番1号  
TEL: 096-342-3119 FAX: 096-342-3007  
shkhdh@jimukunatoru.ac.jp

新聞 できる  
見 熊 本 大 学

11/18 熊本日日新聞

医学部の臨床実習 ナビゲータ「好評」

熊大がテキスト出版

患者の「基本的な権利」解説  
高齢者への診療技法を指導  
治療法問うCD-ROMも

11/30 熊本日日新聞

熊本大 西北町の振興策研究  
熊大の学生が3地区で調査

大学の先駆的研究予算 熊大に980万円交付  
文科審決定

熊本TLOで初の技術移転

熊大教授らが新会社

上肢の運動機能数値化システム

10/30 熊本日日新聞

11/23 熊本日日新聞

10/24 熊本日日新聞

熊本大広報委員会の編集部会

地方分権は法律知識から  
地方公務員キャリアアップ講座スタート

熊大通信に熊日賞

県内5会場で出講講座

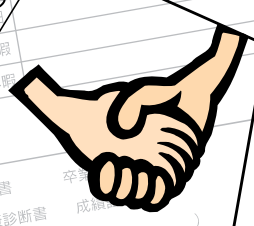
1/12 熊本日日新聞

求人票 熊本大学

平成 年3月卒業予定者用(新規・追加)

フリガナ 会社名(漢字)	採用職種 専門・技術 事務 営業・販売 サービス その他( )
本社所在地 (郵便番号)	採用人数
電話番号	指 定 学 部 学 科 大 学 院 既 修 学 科 基本給 特 殊 給 勤 務 形 態 別 休 暇 願 意 受 付 日
FAX番号	学 部 学 科 大 学 院 既 修 学 科 基本給 特 殊 給 勤 務 形 態 別 休 暇 願 意 受 付 日
U R L http://	提出書類 履歴書 健康診断書 卒業証明書 その他( )
事業内容	送付先 年 月 日
上 場 上 場 非上場	年 月 日
設立年月日 (西暦) 年 月 日	年 月 日
資 本 金 万 円	年 月 日
従 業 員 数 名(男 名 女 名)	年 月 日
*業 績 売上高 利益 配当	年 月 日
今年度 前年度	年 月 日
前年度採用数 (男 名 女 名)	年 月 日
採用担当者 役職・氏名 電話番号 FAX番号	年 月 日
備考	年 月 日

※印の項目欄は、必要に応じて御記入ください。  
 ※大学記入欄 受付月日: 年 月 日



貴社の欲しい人材と  
 2,000人の  
 熊本大学生をマッチング

熊本大学は、7学部7大学院研究科からなる総合大学です。  
 毎年2,000人の学生が育ち、各界で幅広く活躍しています。  
 貴社が欲しい人材を、熊本大学で探してみませんか。  
 そのお役に立つのが学生部就職指導室です。

「企業・産業界の皆様へ」  
 のページから  
 求人窓口の案内にアクセス  
 して下さい。

求人票は熊本大学ホームページ  
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/univ-j.html>  
 から入手することもできます。

小さなことでも  
 お気軽にお尋ねください。  
 貴社のニーズ、ご意見・  
 ご感想を承っております。



お問い合わせ  
 熊本大学学生部就職指導室(黒髪北地区大学教育研究センター1F)  
 〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39番1号  
 TEL 096-342-2117・2118・3262 FAX 096-342-2140  
 E-mail: gas-syusyoku@jimu.kumamoto-u.ac.jp URL: <http://www.kumamoto-u.ac.jp/univ-j.html>

